



歌川広重
行書東海道
《東海道五十三次之内 石薬師》部分

難所を越えろ!

—旅は骨折り— 2022 11/2 水 ▶ 2023 1/29 日



歌川広重
行書東海道
《東海道五十三次之内 金谷 大井川沿岸》部分

貨幣・浮世絵ミュージアム
MONEY & UKIYO-E MUSEUM

●開館時間 | 9:00~16:00 (入館は15:30まで) ●休館日 | 祝日(11/3・23, 1/9) 年末年始(12/31~1/3)

入館無料

[所在地] 〒460-8660 名古屋市中区錦3-21-24 三菱UFJ銀行名古屋ビル1階 [TEL] 052-300-8686 [ホームページ] <https://www.bk.mufg.jp>



難所を越えろ!

—旅は骨折り—

2022 11/2(水) ▶ 2023 1/29(日)



天候
雨や雪にも負けず前進!

いつの時代も、旅は楽しく心弾むもの。一方で、江戸時代では危険や困難がつきものでした。すべてを人力で越えねばならず、急な天候の変化はもちろん、険しい山道や橋のない大河は、最も緊張が高まるポイントでした。

本展では、歌川広重が描いた各種の東海道シリーズの中から、東海道随一の難所と名高い箱根の山々や大井川、旅人の往来を厳しく取り締まった関所、さらには旅人を悩ませた悪天候など、旅路の難所を描いた作品を通して、人々がどのような覚悟で旅を続けたかに迫ります。難所を無事に越えた先には、どんな景色が広がっていたのでしょうか。



行書東海道《東海道五十三次之内 土山 すゞか山雨中の図》
天保12、13年(1841、42)頃 横間判錦絵

体力勝負の上り坂!



縦絵東海道《五十三次名所図会 岡部 宇津の山藁の細道》
安政2年(1855) 壺大判錦絵

スリル満点! 川越え



人物東海道《五十三次 嶋田》
嘉永(1848-54)末頃 壺中判錦絵

緊張! 街道の監視所



縦絵東海道《五十三次名所図会 あら井 渡舟着岸御関所》
安政2年(1855) 壺大判錦絵
すべて歌川広重

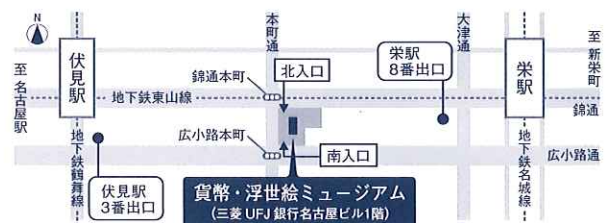
貨幣・浮世絵ミュージアム MONEY & UKIYO-E MUSEUM

- 開館時間 | 9:00~16:00(入館は15:30まで) ●休館日 | 祝日(11/3・23, 1/9) 年末年始(12/31~1/3)
- 入館料 | 無料(団体見学の方は事前にご連絡ください)
- 所在地 〒460-8660 名古屋市中区錦3-21-24 三菱UFJ銀行名古屋ビル1階
- TEL 052-300-8686 ○ホームページ <https://www.bk.mufg.jp>



次回予告

いざ! 出発 - 日本橋から品川へ
2023 2/1(水) → 5/7(日)



○交通案内

名古屋駅 から	地下鉄東山線 3分	伏見駅	3番出口から 徒歩約5分	貨幣・浮世絵 ミュージアム
	地下鉄東山線 5分		栄駅	

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

- 入館の際は、「マスクの着用」「検温」「手指の消毒」にご協力ください。(マスクの着用をされていない方の入館をお断りさせていただく場合がございます。)
- 混雑時は、入館を制限させていただく場合がございます。※催しの中止・延期・変更の可能性がありますのでご了承ください。